

## 蓼科から生まれた小津作品

9月23日(土) 10:00~〈9:40よりオープニングセレモニーがございます〉

新星劇場

宝塚映画創立十周年記念作品で、昭和36年度芸術祭参加作品。

### 「小早川家の秋」

秋子は小早川家の長男に嫁いだが、一人の男の子を残して夫に死なれてからは御堂筋の画廊に勤めている。代々、造り酒屋で手広い商売をしてきた小早川家も、万兵衛が六十五になり今は娘の文子のつれい久夫に仕事が渡り、万兵衛は末娘の紀子と秋子をかたづけるのに頭をつかっていた。

監督: 小津安二郎 脚本: 野田高梧、小津安二郎  
製作: 1961年 配給: 東宝 時間: 103分  
©1961 東宝

9月30日(土) 13:00~〈12:00より記念セレモニーがございます〉

茅野市民館

里見とんの原作を、野田高梧と小津安二郎が脚色した母娘の愛情を描く物語

### 「秋日和」

亡父三輪の七回忌、秋子は相變らず美しく、娘のアヤ子も美しく育ちすでに婚期を迎えていた。旧友たち、間官、田口、平山はアヤ子にいいお嬢さんを探そうと、ついお節介心を起したが、アヤ子がまだ結婚する気がないというので、話は立ち消えた。

### ゲスト: 岡田茉莉子さん(30日)

監督: 小津安二郎 脚本: 野田高梧、小津安二郎  
製作: 1960年 配給: 松竹 時間: 128分  
©1960 松竹株式会社

10月1日(日) 19:15~〈19:15よりクロージングセレモニーがございます〉

新星劇場

名匠・小津安二郎の遺作となった作品。

### 「秋刀魚の味」

春に先立たれた初老男性と結婚適齢期を迎えた娘の心情を、ユーモラスかつ細やかに描き出す。サラリーマンの平山周平は妻に先立たれ、長女・路子に家事の一任せを買って暮らしている。友人に路子の縁談を持ちかけられても、結婚はまだ早いと聞き流してしまう。

監督: 小津安二郎 脚本: 野田高梧、小津安二郎  
製作: 1962年 配給: 松竹 時間: 113分  
©1962 松竹株式会社

## 活動写真弁士が贈るサイレント映画

9月24日(土) 9:35~

新星劇場

### 「ロイドの要心無用」

デパート店員のロイドは、ビルの壁面を登ることにかけては天才的な友人(名前もばり"ビル")を、店の宣伝に利用する妙案を思いつく。しかし当日、友人が逃げたために、なんと彼がビル登りをするハメに……。

監督: サミュエル・A・ティラー、フレッド・ニューメイヤー  
製作: 1923年アメリカ  
作品提供: ハマツダ映画社 時間: 73分

小津監督が戦後に影響を受けた西部劇を甥の長井秀行が語る

9月25日(月) 10:00~

新星劇場

### 「検索者」

ジョン・フォード監督が取組む西部の叙事詩。廣野を背景に、深い愛情を匂えない非情で包む西部男の物語。南北戦争に従軍したイーサン・エドワーズ(ジョン・ウェイン)は終戦を迎えて3年後、テキサスで牧場を営むアーロンの許に戻る。彼を出迎えたのはアーロン始めその妻マーサ、18の娘ルーシ、14になる息子ベン、9歳の娘デビだった。

### ゲスト: 長井秀行さん(29日)

監督: ジョン・フォード 脚本: ブラック・S・ニュージェント  
製作: 1956年 アメリカ 配給: ワーナー・ブラザース 時間: 119分  
© 1956 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved

## モノクロ時代の有名作「紀子三部作」

9月27日(水) 14:00~

新星劇場

広津和郎の小説「父と娘」を原作に父娘の絆を描いた名作ホームドラマ。



### 「晩春」

大学教授の周吉は早くに妻に先立たれ、娘の紀子と2人だけで鎌倉に住んでいる。いまだに独身の紀子を心配する周吉だったが、周吉の妹まさが縁談を勧めても紀子は頑なに受け入れようとしない。周吉はそんな紀子に、自分も再婚を考えていると告げる。

監督: 小津安二郎 製作: 山本武  
製作: 1949年 配給: 松竹 時間: 108分  
©1949 松竹株式会社

9月28日(木) 14:00~

新星劇場

北鎌倉を舞台に、婚期を逃しかけている娘を心配する兄夫婦や両親の物語。



### 「麥秋」

間宮周吉は北鎌倉に住む老植物学者である。息子康一は医者で東京の某病院に通勤、娘紀子は丸ノ内のある貿易会社の専務佐竹宗太郎の秘書である。佐竹の行きつけの築地の料亭「田むら」の娘アヤは紀子と学校時代からの親友で二人共未婚であるが、安田高梧と高梨マリの級友二人はすでに結婚していて、四人が顔を合せると、未婚組と既婚組とに対立する。

監督: 小津安二郎 脚本: 野田高梧、小津安二郎  
製作: 1951年 配給: 松竹 時間: 124分  
©1951 「麦秋」 松竹株式会社

9月29日(金) 14:00~

新星劇場

名匠・小津安二郎の戦後日本における家族関係の変化を描いた不朽の名作。



### 「東京物語」

尾道で暮らす老夫婦・周吉ととみは、東京で暮らす子どもたちを訪ねるため人々に上京する。しかし医者の長男・幸一も美容院を営む長女・志げもそれぞれの生活に忙しく、両親を構ってばかりいられない。唯一、戦死した次男の妻・紀子だけが彼らに優しい心遣いを見せるのだった。

監督: 小津安二郎 脚本: 野田高梧、小津安二郎  
製作: 1953年 配給: 松竹 時間: 135分  
©1953 「東京物語」 松竹株式会社

## みんなで観たい話題作

9月30日(土) 16:30~

茅野市民館

### 「ある男」

弁護士の城戸は、依頼者・里枝から、亡くなった夫・大祐の身元調査をして欲しいという相談を受ける。大祐は不慮の事故で帰らぬ人となってしまった。ところが、長年疎遠になっていた大祐の兄が、遺影に写っているのは大祐ではないと話したことから、愛したはずの夫が全く別人だったことが判明したのだ。

監督: 石川慶 原作: 平野啓一郎 脚本: 向井康介  
製作: 2022年 配給: 松竹 時間: 121分  
©2022 「ある男」製作委員会



9月24日(日) 14:00~

新星劇場

9月28日(木) 19:00~

新星劇場

### 「ラーゲリより愛を込めて」

二宮和也主演。第2次世界大戦後の1945年。シベリアの強制収容所に抑留された実在の日本人捕虜・山本博男の伝記ドラマ。零下40度にもなる過酷な環境の中、わずかな食糧のみで重い労働を強いられていたが、山本の仲間思いの行動と力強い信念は、多くの捕虜たちの心に希望の火を灯していく。

監督: 濱々敬久 原作: 辺見じゅん 脚本: 林民夫  
製作: 2022年 配給: 東宝 時間: 133分  
©2022 映画「ラーゲリより愛を込めて」製作委員会 ©1989 清水香子



10月1日(日) 13:00~

茅野市民館

### 「ペイビー・ブローカー」

是枝裕和監督が、「パラサイト 半地下の家族」の名優ソン・ガヌホを主演に初めて手がけた韓国映画。古びたクリーニング店を営みながらも借金に追われるサンヒョンと、赤ちゃんポストのある施設で働く児童養護施設出身のドンスには、「ペイビー・ブローカー」という裏稼業がある。赤ちゃんポストを介して出会った人々が織り成す物語。

監督: 是枝裕和 製作: ソン・デチャン 祐閏美由紀  
製作: 2022年 配給: ギャガ 時間: 130分 韓国  
©2022 ZIP CINEMA & CJ ENM Co., Ltd. ALL RIGHTS RESERVED



9月26日(金) 19:00~

新星劇場

### 「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」

ノンフィクション書籍「目の見えない白鳥さんとアートを見にいく」を原案に、全盲の美術鑑賞者・白鳥建二さんと友人たちのアート作品をめぐる旅と日常を追ったドキュメンタリー。

ゲスト: 三好大輔監督 川内有緒監督(29日)  
監督: 三好大輔 川内有緒  
製作: ALPS PICTURES INC.  
製作: 2022年 時間: 107分



9月30日(土) 17:00~

新星劇場

### 「マリッジカウンセラー」

トップ営業として活躍した過去を自慢する赤羽昭雄は、パパ活やセクハラも当たり前。ある日、赤羽は辞令を受け、カリスマ仲人・時田十和子の娘である結衣が営む結婚相談所「わねえもわ」へ。物件紹介も結婚相手紹介も同じようなものと甘く見ていた赤羽だが……。仲人たちの奮闘を描いたハートフルコメディ。

ゲスト: 前田直樹監督(30日)  
監督: 前田直樹 脚本: 松井香奈 プロデューサー: 山崎歩  
製作: 2022年 配給: スタジオレヴォ 時間: 110分  
©2022 「マリッジカウンセラー」フィルム/パートナーズ



## 諏訪湖畔で撮影された切なくも美しい映画



10月1日(日) 16:00~

新星劇場

### 「百花」

認知症を発症した百合子の記憶が失われていくスピードは徐々に加速し、泉の妻・香織の名前さえも分からなくなってしまう。それでも泉は、これまでの親子の時間を取り戻すかのように献身的に母を支え続けた……。

ゲスト: 川村元氣監督(1日)

監督・原作: 川村元氣 脚本: 平瀬謙太朗、川村元氣  
製作: 2022年 配給: 東宝 時間: 104分  
©2022 「百花」製作委員会